全法制定を契機として農林省に

した。公害立法第一号の水質保

環境問題にも識者の関心が注が

れ始めた昭和三十三年のことで

(題字は稲川先生)

電話/津(0592)32-1211 振替/名古屋 9-593

吸光はオーストラリアのWalsh

接する機会がありました。(原子

開発途上の原子吸光に

acterization の一つの試み 学の分野における trace char-

解析手法を適用して、水稲体内

れらの内容は二月二日の定年退

ることになったわけです。これ における挙動の法則性を追究す

が、その頃本学科に講師として 官記念講義で話をいたしました です。草地農業の調査で三

月31日発行

学的研究」と、奈良先生は「研究 金属元素の挙動に関する植物栄養 北岸先生は「作物体内における重 回顧・甘藷から澱粉の研究へ」と 両先生のより一層の御活躍と御 に活躍されて参りました。 過ぐる二月二日(水)大講義室で 定年退官講義をしていただ

教授として、奈良先生は昭和二十九年の間、土壌学・肥料学講座の 教授として三十一年の永きにわた 七年から農産製造学講座の助教授 日付で定年御退官されます。 北岸先生は昭和三十九年から十 北岸、奈良両先生は本年の四月

ともに、学部・学科の管理・運営 更に関係学会の重鎮として大 私共を御指導いただきますと 本社が台湾の会社はどうするか 糖へ入社したのですが、敗戦で で勉強した後はいずれ東へと思 っており、卒業と同時に明治製 よるものだと思っています。 私は関東育ちですので、京都

たそもそものいきさつです。御 が重金属問題に私が捲きこまれ 動員されて「重金属による水稲 当することになりました。これ の被害に関する基礎研究」を担 水質汚濁に関する共同研究が設 定され、農技研の私の研究室も IIIIIIII の定量が何とか可能になったば 及し、吸光光度法で微量重金属

がら月日のたつのは早いものだ て教育や研究にたずさわるよう 考えてみますと、三重大学に来 と感じている昨今です。しかし 三十有余年がすぎ、いまさらな XXXXXXXXXXXX になりましたのは不思議な縁に 私が農学部に参りましてから けたようです。 にでられぬ所だと言われており

ろうなどとは思ってもみず、 目鼻がつかず、それで京都へ戻 職までの一時しのぎ、教師にな ったのですが、これとて次の就 ともない教育学部に移り、さら 重青年師範学校の農産・食品加 さそわれて松阪にありました三 造科として存在し、農産製造、 です。当時農芸化学科は農産製 に農学部へ来ることになった訳 工の教授として赴任したのです 戦後専門学校の教官充実で、 その後の新制大学の発足に

日本経済の高度成長が始まり 重金屋 れました。八〇 分光分析装置の購入を認めてく 光を浴び始めたDCアーク発光 スアナリシスのホープとして脚 かりの頃でしたが、 した。今のおかねになおせば八

万円の装置で

ろが三十九年になってかなり優

のではありませんでした。とこ ですが、これはあまり有用なも 日立と島津から売り出されたの

たら別刷をお送りします。)

十七年に一度兼用型のものが

れ始め、工学や医学の分野で関 秀な専用機が濠・米から輸入さ

心をもち始めました。早速文部

当時トレー

関心をもって見守っていました。 がらも原子吸光の発展には鋭い 国後、発光分光分析に携わりな が開発したものです)それで帰

共同研究を推進し将来に備えま が本格的に動き出すのはこれかが国の環境行政 り重要視したようです。当時と 法律の制定を農林省幹部はかな ですが、時代を先取りしたこの ら十年も後のことで、四十六年 した。分光光度計がようやく普 に環境庁が発足してからのこと しては破格の予算をつけてこの の被害機作の元素間差異の問題 中ですが)と錯体化学的アプロ 肥料学講座の助教授として活躍 です。茅野充男君(現在東大の ぬようにとの配慮であったわけ 込まれても、絶対にひけをとら 合わなければならない破目に追 万一裁判に捲きこまれ、会社側 に取組みました。 証人の工学関係の大先生と渡り チを試み、重金属による水稲 万円にも当るでしょう。

IXXXXXXXXXXX ば私とは特に縁が深かったよう ねばならなかったのですが、原 子吸光分析という援軍が現われ てくれました。原子吸光といえ て重金属研究の継続を可能にし 施設は零に近い状態から出発せ してきたとき、無機栄養の研究 三十九年夏に三重大学に赴任 定年退官

白を埋め、研究の情熱に火をつ 離れていた私にとって、その空 だこの勤めは戦争で学問から あるいてしまったわけです。た 結局私も結果的に大学人の道を

私は農産製造教室で園芸利用学・農畜産物の加工利用の理念をか 名称を変更しましたが、当初は は二回卒の人から農芸化学科と と水産製造学を担当するように なったわけです。 農産製造学科 かい 後本学でも食糧工学科を新設し け入れられるには時期尚早であ ようと毎年申請しているのです ったと思われるからです。その

るま湯の様な所で、入ると出る でした。大学という所は常々ぬ たそれほどの自負もありません

の充実がはかられておりました。

ま

醱酵、畜産製造、化学教室の四

つで構成され、それぞれの教官

確

建坪は六○坪を超えてはならぬ 由もあって名称変更をしたので かげて発足し、全国で唯一の学 卒業生の入社試験で農化系でな ることが禍したか、その他の理 科としてそのユニークさを誇っ く農学系で受験させられたこと すが、そのきっかけは第一回の ていたのですが、この唯一であ

から随分後のことでしたから、 学科が新設されましたのはそれ 本学の農産製造学科が社会に受 の様なことがなくても早晩変更 であったと思います。しかして したかも知れないと思いますの 旧帝大系や香川大に食品系 の農芸化学科として充実発展し 生物化学や農薬化学講座が割合 と思っています ましたことは真に嬉ばしいこと る次第です。しかし農芸化学科 新設される日を信じ、待ってい といささか諦めの気持ですが、 容易に認められ、今日の三重大 にふさわしい内容が要求され、 に名称を変えましたので、それ いつかは再びこのような学科が これも縁がなかったのであろう

り、多くの学生諸君をそれも第 回の卒業生以来まみえること 私は不思議な縁で農学部に参

領の花といったところでした

今は昔の若手教官もそれぞれ励

の研究へと進んだわけです。 となって、その主体である澱粉 粉質と粘質の相違に関する研究

第です。

康と発展を心からお祈りする次

終りに三翠化学会の皆様の健

あったこともあって、甘藷の加

整理し、私なりに纒めてみたい

ものだと考えています。

工に関する研究をなし、さらに

りと、そのうち何とかしてやろ だところ、小柳学部長はやんわ 意気なことをいって陳情に及ん

請したところ、幸運にも一回で 省の科学研究費の機関研究で申

ですが、当時はRI実験室も農 学部の基準建坪数を喰うので、 さつでRI実験室の建設と運営 に捲きこまれることになったの 支部設立総会を開催します。 の大講義室で開催し、 し、盛大に祝いたいと存じます。

(I) (原) (D) (T)

た奈良、北岸両先生に、皆で 生と、ご定年を迎えられまし お祝いの言葉を申し上げたい

樹をいたします。

うお願いします。

いますようご案内いたします 障お繰り合せの上ご出席下

なお、農学部構内で記念植

当時としては学位はなかなか高 議な縁としか言いようはない 当然と考えられ、教授の資格の は本務以上であり、学位もまた ます。大学教官である以上研究 また研究の励みになったと思 格し、大学教官になったこと 思います。専門学校が大学に でしょうが、考えてみれば不 はそれなりの理由もあったこ になりました。学生諸君にと ても本学に学ぶようになった 条件とも考えられていますが

を組立てることから始まったわ 態別分別定量を狙った分析体系 "trace characterization" いうことが脚光を浴びて参り で設立十周年を迎えます。 私どもの三翠化学会は今年 最近分析化学の分野で いうなれば植物栄養 引き続 2 カドミウムを対比させ、前述の 米を生産するような低レベル で正常なレベルの亜鉛 あったといえるでしょう。 元素で、電子配置がカドミウ 健康を損ねるおそれのある米 かぬ低レベルでも汚染米ー 銅とカドミウムは等しいのに ました。 の性格の差が明らかになって 壌汚染問題が表面化するとと かび上ってきたのでした。そ カドミウムでは玄米収量にひ 5 月 15 席下さったかたがたには記念 れを主食として摂取する国民 品を用意しておりますので、 と存じます。 が生産されるという側面が 丁度この頃からカドミウム この祝賀パーティーにご出 銅とカドミウムの土壌汚 水稲に対する毒性で

日(田)

場所

総会

三重大学農学部

日時 五月十五日(日)

記念祝賀パー 設立十周年総

三重県支部設立 スイー 総会も ●祝賀パーティー

同封の葉書で、四月末日まで に、出欠ので返事を下さるよ 準備の都合がありますから 午後〇時三十分から 三重県社会福祉会館 会費 七〇〇〇円 歩約五分電量二一 量-002 (津駅から東へ徒

なく、 あったと思っています。 れら若手教官の活力が本学の今 れた時代でもありましたが、こ わけで、報文の数もまた重視さ もこのような傾向は本学だけで 動も随分と活発でした。もっと み、研究に打ち込み学会での活 日の発展をもたらした原動力で 私は当時甘藷が重要な食糧で 全国的な傾向でもあった

に関連した食品に関する研究を これからも縁をえた澱粉やそれ

町村の環境関係の諸兄にはお目 心から御礼申し上げる次第です。 中で頑張ってくれた専攻生(特 のお蔭ですが、不自由な施設の 感激しています。共同研究者と たって書きましたので、県や市 らの成果に関しては、先般「再 学賞を頂戴できることになって 究が認められ、このたび日本農 (関心をおもちの方がありまし 議会誌)誌上の講座に二回にわ 生と利用」(下水汚泥資源利用協 にとまっているかと思います。 して協力して下さった諸先生方 に初期の専攻生)の皆さんにも 四半世紀にもわたる地味な研 午前十時三十分から 午前十時から受付け のですから、縁は十分に大切に にも健康に恵まれていますので ますのは多くの人々の縁による すが、世間は広いようで狭いも ち研究に行きづまり、澱粉の研 ものと深く感謝しています。幸 つの縁であったと思っています。 ことが多く、それだけまた研究 澱粉の泰斗の二国先生が阪大か ますが、無事に定年を迎えられ 私もこの四月一日に大学を去り たと思っていますが、これも一 に恵まれ、まことに幸運であっ 思ってもみなかった澱粉学会賞 までの研究との結びつけもでき それからは一瀉千里の研究でし る心配もなくじっくり落ち着い 素の研究やその他の研究に移っ 悩み続けました。この頃はまた 今日でもそうですが、判ってい らみえられていたことが縁とな したいものだと思っています。 をえられたことも多いと思いま という縁で、多くの人々の知遇 あるものですが、私の場合は今 た。誰れでも人はこの様な時が 利点にもなったかと思いますが て研究をすることもできた逆の ことで私の研究も他人に越され 他の研究者も澱粉をはなれ、酵 の時をすでし、どうしようかと 究ののち、十年ほどは暗中模索 ろに経験したもので、順調な研 うに二進も三進も行かぬのをも 究は泥沼のようだと言われるよ るようでさっぱり判っていない になった訳です。しかし澱粉は に興味が湧くのですが、たちま 卒業生諸君もこの三重大卒業 つの発想から研究の道が開け 試行錯誤の研究を続けたので 澱粉の研究に入ったのだから いったものです。 澱粉の研究が少なくなった 澱粉の研究に打ち込むよう 私はせっか

確に頭に入っていたわけです。 ともに、その制約についても的 所を誰よりも早く実感できると のです。このとき名大の五島善 や京大でもまだ入ってなかった キンーエルマーの三 苦労はするものです。 労したお蔭で、 あるが煩瑣な発光分光分析で苦 秋先生には大変お世話になりま られません。農学関係では東大 パスしました。四十一年に した。農技研時代、本格的では したときの感激は今でも忘れ 原子吸光法の長 三型を入 法を中核として、植物体内にお 私の研究は、原子吸光とRI 武器となり、報いられました。 ても原子吸光とならんで有力な 後になって重金属の研究にとっ あちこち相談に飛び廻り、東北 小さくても特色のあるものをと という厳しい制約がありました。 げる重金属の微細分布や化学形 エネルギーをとられましたが、 大の農学研究所まで行ったと記 いうので、堀口君と手分けして 結局、三重大学に来てからの しています。建設にかなりの

長室に押しかけ、「土壌肥料学 些かショックでした。早速学部 は全国でも例がない」などと生 講座で硝子室を持っていないの てきたとき、土壌肥料学講座の くせに硝子室が無いというのは 思い出になりました。赴任し RI実験室の建設も今は懐し けです。

と、減収などに汚

あるならRI実験室の建設をま うといいながらも、 「やる気が

かせるからやってみろ」と逆襲 して来られました。こんないき ちたいと存じます こで、これを記念して、盛大 な総会と祝賀パーティーをも

総会終了後、場所を市内に移 き同じ場所で、三重県支部の 期総会を母校三重大学農学部 当日は、昭和五十八年度定

に浴されました滝、岩本両先 この席で、昨秋、叙勲の栄 更には続いての京都大学の大学

だけです。そんなことに夢中に

の入学(前身の高等専門卒)、 との出会いが、再度の三重大へ 生もまた不思議なものです。私 会いが、その後の深い縁(えに 議なものはありません。この出

し)につながるのですから、人

林先生との出会いになるのです。 が。この新設の短大への赴任が、嶋 の居た理研の改組がありました

思えば人間の出会い程、不思

学長に迎えられることになりま 時代の先生の塩入先生が初代の

こになったのです。その裏には私

た。そして私もお供をするこ

院への進学となるのです。少な

金になっているのではないか、

思われるのです。

まった訳です。

同僚に恵まれま

ているうちに、

歳月が流れてし

野は、ヨウ素反応によってイネ

のウルチ、モチの交雑からウル

雑のデンプンの遺伝祭

は一九〇〇年ですが、

ルの遺伝法則が再発見されたの

でした。そんなことに我を忘れ なり、次は大学院をつくること 化

と現在の嶋林教授とはやって来 座は、それまで空席でした。従 会いです。二人の赴任先は、三 の助手として嶋林先生も赴任す んでした。そんなところへ、 ることになりました。再度の出 材は硝子のかけら一つありませ って部屋はあっても、 物化学講座でした。然しこの講 里大学農学部の農芸化学科、生 実験台と机だけで、実験器 あるもの

岩

後は日本橋を去っていて、滋賀 市)に移りました。私の家は代 立の農業短大が創立され、大学 なります。その春、滋賀県に県 県へ行くときは本郷に住んでい 代東京の下町、日本橋に住んで ました。もっとも関東大震災 初めて都落ちをしたことに 兎に角私の代になっ 恵まれたのです。 滅多に無い機会を与えられた訳 やりがいのある、人生において ったのです。今にして思えば、 学農学部の生物化学の講座づく くりが始まった訳です。三重大 りが、二人に課せられた仕事だ です。私達二人は大変な幸運に その春から二人での研究室づ

めぐって

せがあったのです。先ず講座数 をふやすことを考えました。東 私は、力量も無いくせに、自分 何とそれが十八年にもなってし 私の滋賀県在住は六年でした。 とある先

を去って滋賀県の草津町(今は 昭和二十五年の春、私は東京

たのです。

六年後が恰度よいネ、 でも良くしたいと夢中になるく の置かれた周囲を、何とか少し まいました。考えてみますと、 と思ったものでした。ところが 三重県にいるのもその位かな、 輩は言いました。私は漠然と、 ョウ素反応を

で、講座数の増えたのは三重大 海地区の新制大学の農芸化学科 別があるのは、 たのは一八六〇年です。メンデ はウルチデンプンが試料になっ この反応の発見はずいぶん古く 実の胚乳と花粉に限られている 反応によるのが一番容易です。 たのでしょうか、コメデンプン にモチ性のあることが記載され ようです。この判別にはヨウ素 八一四年のことで、このとき デンプンにウルチ、モチの区

した。部屋の人達は勿論のこと 瞬間はないと痛感しました。 人生において、これ程の感激の 考えてみますと、これはみな

クラス会

昔に変らぬ温かい皆さんの情に 栄の一夜を過ごした次第です。 ましたら、早速、科の皆さんは 感激いたしました。更に明けて 御祝いの会を開いて下さいまし 昨年の十一月叙勲の栄に浴し 滝先生と二人、招かれて光 様な先生方から、 ました。鈴木梅太郎先生、佐橋 私の人生は大変豊かなものとな 出会いなのです。お蔭さまで、 また私は大変よい師に恵まれ ました。有難いと思っています。

年に二十年目の、

そして昨年四

に二十五年目のクラス会を開

れ第五回卒業生も、

いておられる様である。われわ 目位のサイクルでクラス会を開

三翠化学会の各会員は、五年

月の下旬、今度は私の部屋の 研究に対する考え方、態度、み 有機化学は佐橋先生の賜物です ました。ところが、イネの場合 学び得たことは、大変な幸運で ことは無上の幸福でした。この た。こういう先生方に接し得た 鈴木先生、塩入先生は天才でし した。尊い出会いでした。私の んぷんの遺伝化学の端緒を開き 塩入松三郎先生です。 色色なことを

外はそれなりに元気に活躍をし

のクラスメートも故稲垣大兄以

した人も居るが)人生五十年

した。あと一、

二年で(既に

ませんでした。 には、この領域の発展は見られ アミロース 礎を確立 ているが、最近の新聞紙上を賑わし 見とともに、デンプン合成の遺

して、デンプンの遺伝化学の基

トウモロコシの発 九五二年には高

基 次

て、トウモロコシのウルチデンフ 性であることが確認されたのは に至って、T.J. Schochによっ 展してきたところへ、一九四二年 て、この分野の研究がさらに発 年月が必要でした。これに伴っ 一九二二年のことで、一三年の この waxy 種のデンプンがモチ ところが、ヨウ素反応によって の注目をひいて、胚乳のwaxy ました。このwaxy 種は多方面 の外観からwaxyと名づけら 性が指標となって、遺伝研究の た。このモチ種が米国に持ち込 コシの場合にも繰り返されまし よれたのは一九○九年で、子実 同じようなことが、トウモロ 露呈している例でしょう。 さに、これは、科学風土の違いが大きな成果が得られました。ま の画期的な発展に加速されて、 られましたが、デンプン化学上 期的には早く着手されましたが国のイネについての研究は、時 伝的制御の可能性も期待できる 研究の初期こそ停滞のように見 遺伝化学の展開があってよさそ 段階になりました。 残念なことに見るべき展開もな が国と米国で独立にデンプンの ンの場合は、遅れて着手され、 中断されてしまいました。こ このように見てきます

米国のトウモロコ

Spragueらが、この成果をト ずに一九四三年には、G. F. モチ性の分子レベルからの考察 ウモロコシのウルチ、モチの交 が可能になりました。機を逸せ 応の本態が解明されて、トウモ ロコシのデンプンのウルチ性、 ンの分別法が確立されました。 これに引き続いて、ヨウ素反 導入 て、この分野の研究の展開を願 デンプン化学の現状を背景とし されていますが、わが国でも、 でイネのこの分野の研究が開始 ません。すでに、国際稲研究所 伝化学の分野の欠落は否定でき ていますが、このデンプンの遺 は世界的レベルであるとい わが国のデンプン化学の現状

の皆さんの話を聞いていて、 の感激に浸ることができました。 卒業生の皆さんが、 、 御祝いの会 た。教え子 教 な右の諸先生の賜物です。 っていましたら、昔のことが次

次に思い出されて、ついこんな

今は亡き老師を偲びつつ

文章になってしまいました。 叙勲に浴して

あり三翠名簿やら勤務先に電話

して転勤先住所を聞くやらで、

田庄一、森田、

板谷、

榊原、立花の諸兄

圭助

尾商店社長・深尾、橋本醸造社

名張高校教諭・木根、

深

学教授・澤田、

竹村商会社長

菊大輪 妻ともどもに 咲かせけり (一九八三・二・二七記)

25年目のクラス会 水谷 栄三

ただいた稲川教授、長瀬教授、 の意を表するものである。 すると、前列右から、滝川、

なかなかに楽

会場は

ラスメートの記念写真をご紹介 上、山田幸雄、芦田、岡田、後 さて、当日集合してくれたク 江

多少疎遠になったままの友人も らい、帰名後、筆者に幹事依頼 の開催のもとを与えていただい があり、引受けた次第であった。 等が東京在住クラスメートと語 生の葬儀に参列 逝去された田中庄助先生で、 避はどうしたことであろうか? たのは他でもなく、 こいる熟年の気弱さ、生よりの逃 われわれクラスが二十五年目 した刀根淳祐君 一昨年暮に

か五年の年月で幽明境をわける 田中教授、石川教授と、この僅 ともかく各位の賛同を得て、三 師を偲び改めてクラス一同哀悼 かった事である。在りし日の恩 ことになろうとは夢想だにしな 重県長島町にある中部日本放送 受け、また膝をまじえて盃をい われが親しく謦咳に接しご教授 まさに愕然の思いがする。われ にもび出席いただいた。省みて 長島寮を知人の伝で拝借開催す 前二十回の折は、 恩師の方々 を咲かせた。 い一夜であった。 の理由と一緒に近況を知らせ、 胆をぬかれ…… ケに日頃の修練ぶりを披露し、 育てている蒲郡の黒野など不 たが、青森で活躍中の岡出、 また刀根の謡曲の音吐朗々に の山林を歩き二百年先の美林 ある。また当日参加出来なか 京在住の加藤晃、佐野敦、全 ーの料理に舌鼓をうち、カラ・ 皆で回覧して懐旧談に

宿泊先の寮マス

たが、会場は二十数年前の学生

以来初めて顔を合せる者もあっ

髪の増えた者、遠路を、又卒業 生時代のままの者、すっかり白

時代の雰囲気である。

乾杯、そして宴会に入る。

まず、幹事の簡単な挨拶の後

それぞれの近況の報告では、

二十教年前の

学生時代の雰囲気

服部

部)、三興製紙・鳥羽の各大兄。 忠、三重県庁・近藤、筆者(服 長・橋本見一、石原産業・橋本

三三五五集まる顔ぶれは、学

ことである。 れを惜しみ乍ら袂を東西にし 五年後の再会を約し、一同別

す。 皆んなの健康息災を祈り乍ら …一年遅れのクラス会記を (水谷)

殆んど毎年の様に開催されてい

れたのは、昨年の七月四日である。

れる。

滝先生の学究一途の円熟した

今迄は何等かの理由を設けて

久方振りのクラス会が開催さ

かな経験と自信の程がうかがわ

年令だけに、苦労話の中にも豊 各自が業界で中心をなしている

たが、こと二~三年お互いの都

み出ており、感深いものであった。 お話には、先生の御人格がにじ

久方振りに会った、鳥羽、北

台がつかず御無沙汰していた。

同級の一人、筆者が長年の会

沢、足立大兄の話にも花が咲き

学生時代からの異色人、中川兄



合となった。

その激励もかねて四日市駅前の

嶋林、深尾両兄の連絡で

の飲む程に出てくる独特の薀蓄

には、彼の苦労と自信の程がに

養老の滝(有限会社銀駒)に集

じみ出ている。

ると、恩師滝先生を中心に前列

まず、出席者を写真で紹介す

生時代の話、四方山話、果ては

飲み且つ語りあううちに、学

各人の健康から家族、特に子供

左から、

大阪化学振興KK工場長

重大教授・嶋林、

中列左から農

場の若い雰囲気とは別の年令を

きることも知れない話の中に会

達の成人ぶりから結婚と何時尽

感じた次第である。

予定の時間もあっという間に

筒井、河田飼料K・足立、三

林業自営・小林、米長商店社長

川、恩師滝先生、ヤマモリ

の健康と再会を約して散会した。

常に次期テーマを出していかね 果を出す事が要求され、その 宮川印刷・北沢、聖母女学院大食品工業・川村、後列左から、

四年間、この間、世界で最初 京大受託研究員五年を含めて 究連絡でアッという間に三十年 振り返ってみると、一番長 シリに火のついた研 至っている。 なんの恩返しも出来ず、今日に 兄を尋ね、御指導頂きながら、 を転々、恩師、先輩、後輩、諸 究が三年、香粧品化学が二年、 究、合成高分子土壌改良剤の研 農薬が二年と農芸化学の各講座 事でした。それから皮革鞣製研 究など当時としては最先端の仕

が過ぎました。

研究したのが醱酵化学関係で

昨年十一月二十三日に竣工した ウロウロしているのが現状です。 命じられ、しかも六億から投資 月。入社早々生化学研究部長を して生化学研究棟が与えられ、 現在、白井松新薬に一年六カ 良の蓄積をやっています。 に入らない事多く、 日々消化不

これも若返りの一つとヤセガマ に経験していない分野に挑戦中、 分析キットの開発等々、今まで 規な臨床診断薬として酵素免疫 クロナール抗体の産生とか、新 離や、リコンビネートなどした ン言っても、若い時の如く、 事がないので大変でしたが、こ れからがもっと大変と……しか 他のテーマもHLAIモノ 頭

転々流転三十年

あげくの果てに、二十年勤務し 工業株と、表題の如く転々流転。 (株)、三重大助手、日本合成化学 翌年には不景気で銀行管理で首、 その後、京大大学院、井上皮革 中山太陽堂に入社出来たものの 生の肝入りでクラブ化粧品本舗 なり、新制、旧制大学生が同時 に卒業の上不景気、それでも先 ハイオテクノロジーの時代と異 丁度、大学出て今年は三十年。

西 川 英 郎 (大1)

ばならず、

た日本合成も不景気の為当 ていたのかも 研究したのだから、まだ恵まれ され、 の開発に従事し、その間十二 務。五十の手習いで薬の研究。 間も三重大と京大に席をおいて ぶりながらも、一応は生化学系 ている。世の荒波をまともにか 全盛時の三分の一の人員になっ クラブ化粧品も名をかえ、フル してなく、日本合成も縮少して ヘール化粧品、井上皮革は倒産 現在、白井松新薬株に勤 年

たり、世界で最初に合成高分

ル資化性酵母を発見

PVAの分解酵素の製造特許

生化学棟の中にはP3設備の遺伝 かまえています。 者には前途洋々たる未来が待ち でさえ、農芸化学を専攻する若 浅学菲才の人間三十年の経験 小さく固まら

げを出すなど、未だに微生物 に拡げ、年間十五億円の売り 口酢酸を工業製品の防黴剤用 出したり、食品保存料のデヒ 造と分けることが出来るでしょ

つ。この前者を桑名工場が、後

う、員弁に近い田舎に隠れた大 ゆ生産高では全国で第八位とい 油を主原料としたつゆ類の製造

こいえます。ひとつは醬油と醬

か合わせで成り立っている企業

ころのある会社です。というと

最近にわかに興った会社のよう

満足しているかと思うと、何と

のです。それでレトルトだけで れを作っている工場は東洋一な

冷凍ハンバーグを作ったりもし

見全く異なる二つの業種の組

ヤマモリ食品工業株式会社は

、二、三のサンジルシがあまり

うゆ容器まで自分の会社で作っ

てみたり、とにかく変わったと

でに申し添えておきますと、そ

五十種類を超えています。つい

桑名のしょうゆ会社というと

ヤマ

モリ

食品

とをお断り申し上げておきます。 ません。多少偏った紹介になるこ 松阪工場のことはあまり分かり

初めて作ったり、しまいには、 動通風製麵装置をやはり全国で

食品生産高は全国で第三位、

っています。そこでのレトルト

とでしょう。

ニューは和・洋・中、合わせて百

しょうゆを作るついでに、しょ

液体スープを出してみたり、自

自社開発という、変なことをや

幸

ヤマモリ食品工

もうひとつはレトルト食品の製

ですが、実はヤマモリはしょう

近くの?」と言われるのが普通 の人にも「ああ、あの益生駅の 社に勤めていると言うと、近所 にも有名で、桑名のしょうゆ会

(3)

者を松阪工場が受け持っていま

9が、この原稿は西山桑名工場

であまり知られていないという

企業なのです。これほどの会社

訳が分からなくなってきたでし

ょう。ここで、松阪工場に登場

してもらいましょう。

のです。どうです、

もうあまり

十五年にもなる古い食品会社な 創業は明治二十二年、今年で九 に思われるかも知れませんが、

ので、筆者は入社以来桑名工場 長に無理矢理押しつけられたも

ろのひとつですが、その他にも こともヤマモリの不思議なとこ

でしか勤務しておりませんので一当社は、全国で初めて袋詰めの

では、

何とレトルト

つなものなのに、

に地区にあり、阪急宝塚線で、

化

翠

三栄化学工業株式会社

木下

崎次(大9

つ目

栄 化 学

身にしみる今日此頃です。 雪とのニュースも報じられてい さましたが、二月も半ばになっ ーラストが強いだけに、 今年の冬は、異常気象を反映 寒波により日本海側では豪 季節通りの寒さも、 嶋林先生よりお話しが 暖冬傾向が続いて 一段と

思いつくまま、筆をすすめてみ 工業株式会社は、大阪府豊中市 係方に

で

理解いた

だける
紹介が ときるかどうか気がかりですが 私の勤めております三栄化学 お引受けしたものの、皆 なく、これが当社の特色ともな 清水源商店を通じて販売されて 係にあります。三栄製品は全て っています。 おり、一方当社には販売部門は

いただきます。 次に会社の沿革を紹介させて

に本社・工場をもち、各種の食

っても、大阪市の北側に隣接し 会社です。場所をもう少し詳し 金二億円、従業員約三五〇名の 品添加物を製造している、資本 、説明しますと、豊中市とはい 区に三栄化学工業所を創設し、 の国産化を志し、大阪市東淀川 輸入にたよっていた食品添加物 清水源吉が、昭和六年に、当時 当社は、創立者で先代社長の 一素各種を扱っています。有機酸

店があり、食品添加物の専門商 で一〇~一五分程度の位置にあ 豊中インター、新大阪駅より車 の駅より徒歩一〇分、また名神 五十七年より稼動しています。 ター近くに落合工場を新設し、 から天然色素を製造する工場と ります。この他に、紫キャベツ 社として、七○余年の歴史をも 梅田から三つ目(三国)と、 ち、当社に対しては親会社の関 して、中国自動車道、落合イン に本社をおく株式会社清水源商 関連会社としては、大阪市内 (庄内)の中間でそれぞれ 四 株式会社となり、食品香料、有 機酸の製造も始めました。昭和 製造する食品添加物の種類もふ 備の改良、新設を行い、この間 充強化し、近代工場としての設 株式会社となりました。戦後新 酸工場を合併し、三栄化学工業 現在地に新工場を建設し、三栄 造に成功しました。昭和一三年 同年国産第一号の食用色素の製 として今日に至っています。 重要性に着目し、研究部門を拡 え、食品添加物の総合メーカー しい時代の食生活と食品衛生の 一九年、酒井製薬株式会社有機

味料を扱っています。食品香料 ず香料部では食品香料と天然調 四部門に大別していますが、ま どを製造しています。色素部は などの他、カロチノイド製剤な 食用色素及びそのアルミニウム 性香料、粉末香料、香辛料香料 バー、天然香料、乳化香料、油 としては、エッセンス、フレー レーキ、製剤食用色素、天然色 現在社内では、製品群により 使い方が悪ければ健康に悪影響 加物を開発し普及に努めるとと ついての研究の成果を広めるべ 添加物の性質や正しい使い方に 販売するだけでは不十分と考え を与えることもあるため、製造 もに、質の悪いものを使ったり 不安をいだく方もおられます。 く努力しております 当社では、より安全な食品添

しており、全員研究室に勤務し 二翠化学会員は現在五名が在社 さて、最後になりましたが、

にわたる製品を扱っております。 膨脹剤、品質改良剤その他の多種 安定剤、ゲル化剤、天然甘味料、 塩類を、また食添部では乳化剤、 部はクエン酸、酒石酸及ひその 現在のように、加工食品が多 2室、主任研究員。

品添加物は欠かせないものにな 価が高く、風味が良く、目も楽 なってくると、おいしくて栄養 に、衛生的につくるために、食 量に製造され消費されるように ませてくれる食品を、経済的 PRを担当。 然色素の製剤研究、 究室、主任研究員 ・柴田正美(大一一)

の間には、その安全性をめぐり っています。一方、一般消費者 転じ、研究室を経て現在、 され、活躍を始めています。

支店営業一課課長として活躍し は当社に入社後、清水源商店に ています。

しており、現在は研究、 貫して天然調味料関係の仕事を 入社以来一 香料研究 PRE

の製剤部門で、開発研究を担当。 究1室。香料の調合部門に配属 の開発研究、応用研究を担当。 ロチノイド製剤などを扱う香料 究1室。ベース(乳化香料)、 ・尾崎伸次(大三〇)=香料研 ·浅井以和夫(大二七·院一四 関小田弘 (大/八) =香料研 食添研究室。乳化剤、安定剤

以上、まとまりのない紹介に

心用研究、 主として天 =色素研

このほか小島晨紀(大一〇)

会員の皆様のご活躍、ご健闘を お祈りします。 きます。終りになりましたが、 なりましたが、ここらで筆をお

東京 クラス、家政科三クラス、保育 きた農芸化学科のクラスを無事 現在私は三重県立明野高等学校 百余年の歴史と伝統を持ってい ス)で一学年を構成しており、 生は家政科ニクラスの計六クラ 科一クラスの計七クラス(一年 先生方の多くが三翠会の会員で 園芸科一クラス、農芸化学科一 いるところです。 送り出して、ホッと一息ついて に、二年生の時から担任をして 月日が過ぎ去ろうとしています。 学の門を出てから早くも二年の 一)と、理科担当の鈴木先生(専一なってしまった。二学期には、 農芸化学科担当の松村先生(専 ます。そして本校の農業関係の に勤務しており、この三月一日 っ。また、三翠化学会の先輩に 明野高校は、農業科一クラス、 三重大学学生歌に送られて大

CBCラジオで聞いた人も多い 見せています。コマーシャルを なって少しずつ脱皮のきざしを るを得ないヤマモリも、最近に ことは、知らなくて当り前のこ だとか、スパゲティミートソー 数年ぶりの宣伝なのです。その のではないでしょうか。これは スが生産高全国一だなどという テンクックしょうゆが当社製品 のだと思います。例えばキャプ があります。それは、委託加工 今ひとつ知名度に欠けるところ わゆる下請が多いことによる 偉大なる下請企業と評されざ こそこの自信はあるのです。

うちに広告もバンバン出る筈で 場長を務めておられます。古い 等があります。スーパーで見ら ヤマモリしょうゆ、なめ茸のお ヤマモリの名前をお心にお留め 腰を落ちつける暇もありません。 多く、堅い工場長は日夜工場内 桑名工場ではいろいろな問題も 当社の取締役で、桑名工場の工 大一回卒の西山正之先輩、現在 れたら、一度買って下さい。そ 吸物、松茸釜めし、ハンバーグ おき下さい。そして買って下さ を歩き回っておられ、事務所に 紹介させていただきましょう。 くお召し上り下さい。味にはそ 自社ブランドで有名なものは、 い、食べて下さい。念のため、 して買って下さったら、なるべ さて、当社の三翠化学会員を

を披露され、従業員一同びっく 久先輩、松阪製造部の課長で、 卒の坂野市三先輩、桑名工場の 従業員の集まり(桑名工場では 程を管理しておられます。屋の 長で、しょうゆもろみの圧搾工 卒の川村哲道先輩、製造部の課 りしました。大四回卒の豊井晃 れます。昼礼では二度ほど詩吟 品、工程の管理を行なっておら 品質管理課長として、厳しく製 地震の話を前後二編に分けてさ 昼礼と呼んでいます)で、東海 おられます。唯一の楽しみは週 でを、四名の課員で切り回して 発注から在庫管理、支払計算ま 課長をしておられます。原料の の服部寛先輩、松阪工場の資材 一回の麻雀だそうです。大二回 好評を博しました。大三回 て大二十六回卒の深田理君、 阪製造部の係長で、缶コーヒー、 ヤマモリ食品の三翠化学会 優雅な準ヒモ的生活を送っ 子に行き、本名木村幸信とし が、現在主に商品開発を担当 書き連ねてきた筆者は、大二 最後に、今まで無責任なことを そして何と四月からは妻のため 作っているとも聞いています から夏のためにてるてる坊 当たっています。そのため、 ります。 せん。実は昨年四月木村家 ながらも、試食に余念があ 五回卒、中世古幸信です。 ており、肥満は職業病だと叫び にも働くことになるそうです。 上場品質管理課に属してい 以上全般的に見る

間研究所ではモウカルタネを生 み出す事が必須であり、 その情報量の大洪水の中で、民

を振り

返っ

三)のお二人がみえて、公私

ぞ!」と叱咤激励しているうち

た。そしてわが三年三組の生徒

(大27)

に大変お世話になっておりま

に過ぎ去り、

いろいろな事があ

先生方に多大な迷惑をかけなが

らも、去年の暮れまでには殆ん

は、生徒指導部や進路指導部の

さて、私の担当科目は殆ら

E

にこぎつけたのでした。 ったけれども、クラス全員進級

オテクノロジーの進歩は顕しく 早く結一の窒素代謝に関する酵素学的 は興味をもっています。次 助手、日本合成と八年間。植物 いのが、土壌肥料関係で院生、

長 |子組みかえの実験室があり、や |ないで、新しい分野に挑戦され

ん事を祈って筆をおきます。

過

っとどうやら実験できる所まで

手をよごして、プラスミッドの分し駄文を労し、失礼します。 漕ぎつけましたが、自分自身、 も短く「全員三年生になるんだ 技大会など、いろいろな行事が体育祭、修学旅行、文化祭、球 目白押しだった。三学期は期間 の甲子園出場という大きな出来 初めて経験する事の多い年でし 導等、二年目も一年目と同様に 事があり、また三年生の就職指 去を語る年令に達したようで、

中で生徒を追いかけたりもしま 年もたつと少し余裕もでき、生 えないでしょう。時には学校の 生と生徒が話をしているとは見 とり(知らない人が見れば、先 徒の気持もかなり把握できるよ うになり、生徒との激しいやり 上がることになりましたが、一 た)の回数も少なくなりまし 二年目も、このクラスを持ち ど進路も決定し、三月一日無事 巣立っていきました。 三月中旬には入試があり、

常に変化に富んだ日々が、

いの非

この二年間を振り返ると、

ように過ぎていったように

が過ぎ去ってしまいました。 もわけのわからないうちに 年目の時には農業機械なる。 農芸化学の関連科目ですが

も担当することになり、自己

で

が、思いつくままに近況を報告 ている今日このごろです。 生の担任をしようかな、と考え います。心も新たに、また一年 月には新入生を迎えようとして させていただきました。 以上まとまりのない内容です 四

労力を費し、どのように授業を 日の授業の予習に多くの時間と 年生農芸化学科の担任をし、 ます。赴任して一年目から

た。今年度は、野球部の二回目

毎:

し、どのように生徒を指導す

n

腰痛と自然食 誠 (大16) 田

調理缶詰の製造に

土を

業よりも期末試験や保護者会等 ちに、七月になってしまい、 ばよいか、などと悩んでいるう

授

に追われているうちに夏休みに

です。皆様、どうか我々とな 割にのんびりとやっている 員は ます 桑名 養 ま 生の時、中京大戦を控えて、雨 のが良かったのか、その後の公 間練習を休んだ。完全に休んだ が降る中を練習に励んでいたと 卒業してはや十五年もたったと いうより、ラグビー部卒業だな 城大を破りAブロック準優勝と 式戦に臨む事ができ、運良く名 がギックリ腰だなと思い、一週 やな脱力感を腰に感じた。これ ころ、突然ストーンという、い を見て、ゾッとした。私が四年 は思いたくないが、現役の激突 OBとして一泊二日で参加した。 岐阜県の数河高原で行なわれ、 いう喜びを得た。三重人卒業と 今年もラグビー部の夏合宿が

物を食する生活だが、農芸化学 であった。通うこと数十回、 米を中心とし、より自然に近い 食を取り、カイロプラクティッ たようである。自然食とは、玄 て、以前に増した元気が出て来 勢も良くなった。体質も変わっ れだけ苦しんだ腰痛も消え、姿 クと独特の電気針による治療法 の先生のところを訪ねた。自然 体がゆがんでしまった。これは ように感じた。痛みはひいたが て、三度目のギックリ腰にかか 体を鍛えた自信もあって色色な れていた東京の自然食を基本に った。だんだん悪くなってくる をいい事に、ソフトをやってい 運動に積極的に参加した。 をおぼえる程度であったので、 したクリニックにある理学療法 るようになり、腰を大事にして どうにか日常生活も普通に出来 くなった。その後治療に努め、 し卒業後十二年たった、あるソ に見まわれ、一週間全然動けな 大事だと、以前からすすめら トの試合中、突然ギックリ腰 たが、一年後に良くなったの あ

せめて三翠化学の方は

趣味はクラシック音楽鑑賞から

を明うこと(違っていたらすみ 大変身し、カラオケで「紬の女」

> 製造を軌道に乗せるべく一人で 現在、新製品のラーメンの具の

開発からライン設計までを引き

モリをちょっとだけ覚えて

どと騒いだものだ。社会人に成

生としては、何かと考えさせる

ってからは、腰にいくらか鈍痛

ません)です。

せば、もっと有名になっていそ かというとさにあらず、缶ジュ ているんです。それだけで終り ース、缶コーヒー、それに瓶コ -ヒーにまで手を出しています。 これだけいろんな事に手を出 うちの会社は

《文芸欄》

専二回 中

伊勢工業高校 義

郎

ガキの頃だった。 伊勢には大きな海がある。そし の伊勢つ子と言うのであろうか 伊勢に勤めて齢五十有余。生粋 ら釣があった。釣を覚えたのは 生まれは伊勢。育ちは伊勢。

(黒鯛)を狙う人の石がかりのテ は今は埋め立てられ水田になっ 黒になって釣っていた。その川 竹を切って、それが釣竿。真っ グスを干潮時に拾い、竹藪のめ 夜釣りの「シラ」 時間、餌、釣果、備考がメモさ こともあるかも知れない。いつ の一日を拾ってみる。九月二十 れている。 年間。釣行の月日、旧歴、場所、 る。私は昭和三十年来、二十八 の為には釣魚データが必要であ したいと、私は思っている。そ 出かけても釣れる。そんな釣を カイズの当り年。昭和五十年

一日。旧七月二十七日。今一色 湾口。一三・〇〇時~一七・〇

・釣果なき帰路夕焼のプレゼン 「こうより」は昭和三十四年に 私共、農芸化学科の機関誌

第一号を発行して以来、先輩の

とを切望しております。 元輩の皆様に読んでいただける こうより」が一人でも多くの 私共、編集委員はこの機会に

ただきます様お願い致します。 記の上、左記宛に申し込んでい 書いた葉書で住所、氏名を明 ますが "こうより購入希望"と

三重大学農学部農芸化学科 こうより編集委員会

章されました。まことにお芽出 旭日中綬章、勲三等瑞宝章を受

に続く記念講演が、又、同七日

い限りでありまして、会員一(木)京都大学で開催されます日

・研究の御功績により、勲三等

٢ おねがい

御努力と御支援のおかげで第二 ハ号を発行することとなりま

つきましては、お手数をかけ

からの原稿、便り程興味深いも のはありません。皆様方の近況、 在学中の思い出、エピソード、 加えて「こうより」に対する御 a、投稿いただければ幸いです。 布望、御意見等何でも結構です つ、気楽に筆を執っていただ 在学生にとりましては、先輩

先輩諸氏のよろしき御指導をお

ツが今の私の釣の土台なのであ ている。そのとき覚えた釣のコ 無理して言えば、この道四

りであります。

名というのが進路の内訳です。 が、修士については、企業三名 名)、学士二十四名(内 女子六 公務員三名、教員三名、進学九 のうち、企業九名(内女子六名) 員一名、その他一名といったと ころです。一方、学士二十四名 ととなります。進路の内訳です 新三翠化学会員として迎えるこ 名)が三月二十五日に誕生し、 (内女子一名)、教員一名、公務 今年度は修士六名(内女子一

両先生は、多年に亘ります教育 昨秋、文化の日に、滝、岩本 〇滝基次、岩本喜一両先生、 叙勲の栄に輝く

輩からの投稿がなく、寂しい限 懸橋として出発した「こうより」 業生、そして学生の三者を結ぶ した。農芸化学科の教職員、卒 紙縒に語源)第二十六号も先

、青竹が釣竿だった少年期

・よく釣れた話きれいな海の過 二、釣り上手人と魚の知恵く 釣の鋭さ我が身を釣って知り

漫然と釣に行って、時に釣れる 調査と釣り」とあてはめてみる。 市場調査と商店経営」「魚場 ゼー、赤汐の為湾内にカイズス り、私の釣の計画は立てられて 時。カイズ4、ヒイラギー 釣れない釣はしたくない。 せんなあ」と同僚は言う。私は ったか?と記されている。 岩一つ隔てて釣の明と暗 海広し釣一日の幸とする 茶柱を黙って飲んで釣に出る この釣日誌をひもとく事によ 「あんたは釣れる釣しか

会費納入

0

おねがい

三、細い程テグスは強さ主張

諸活動もますます活発になろう

三翠化学会も十周年を迎え、

お願い致します

昭和五十八年度の会費納入を

下表、号数(昔流に言えば、

でありますが、すでに六年間据 いております会費はこの原動力 としております。皆様方から頂

E 同心からお祝い申しあげます 両先生とも、壮者をしのぐお

であります。両先生の御発展と 御健康をお祈り申しあげます。 元気さで、子女教育に御活躍中 〇北岸確三先生、日本農学賞 受賞決定

叙勲に続く慶事で、関係者一同 講座担当の北岸確三先生が選ば 受賞者の一人に土壌学・肥料学 れました。滝、岩本両先生の御 ます日本農学賞昭和五十八年度 大喜びであります。 日本農学会最高の栄誉であり

ンカ類の長距離移動に関する一

しています。受賞対象は、

でお知らせしてありますので、そ

での状況は「三翠」第一五五号

ととしています。

いてでありますが、

次に、学部・大学の近況につ

通一次試験を課さず且つ試験方

法を配慮した特別選抜を行うこ

一、ヨーグルトとは

れ以後について触れておきます。

▽農学科昆虫学講座の岸本良

先生の日本農学賞受賞が決定

日(火)、東京学士会館で受賞式 学的研究」であります。四月五 ました「作物体内における重金 属元素の挙動に関する植物栄養 受賞対象は、先生がライフワ クとして多年手懸けてこられ 晴しい快挙といえます。 受賞されますことは、非常に素 本学部の北岸・岸本の二教授が でありますが、このうち二件を 五十八年度の農学賞は六件七名 連の研究」でありますが、

原稿を募集しております。ど

報交換をより緊密にするため

重要な食料の一つである。 祥地といわれ、現在でも住民の

た時期にさかのぼる。ブルガリ 初の家畜として羊を飼いはじめ

ヨーグルトの歴史は非常に古

紀元前五千年頃に人類が最

地方、東地中海沿岸地方が発

極的な投稿を是非お願いしま んな原稿でも大歓迎です。

積

目を集めるようになったのは、

ヨーグルトが一躍世界的に注

はかり、会員相互の連携・情

付で定年御退官されます。 当の渋谷欣治先生が、四月

場として活用して下さい。

を受賞)が、

糊状または液状にしたもの又

は如何がでしょうか

長寿者が多いのは、ヨーグル

名な生理学者メチニコフ(一九

一十世紀の初めに、ロシアの高

八年に、ノーベル生理医学賞

「三翠化学」を情報交換の

グスの表示数値である。 これを引張強さkg/mで表わ 引張強度はテ

ズ」の部分にすべての張力がか

かると考えるべきである。

引張強さ

(kg/mm²)

80.95

76.69

76.36

数字のマジックかも知れないが 人は細い程強くて値段も安い」 る。その上、値段も安い。「テグ してみると、右枠の数値である。 テグスは細い程強い」と言え テグスは「キズ」のついていな ・人間の知恵を離れて釣れてい い状態ではじめて強さが表われ

引張強度 (kg/本)

1.73

2.53

3.31

はじめに

直径

(mm)

0.165

0.205

0.235

異的な伸びを示し、一九八一年

近年、わが国の平均寿命は驚

は、女七九・一三才、男七三

・語りかけ仕掛を盗む釣上手 仕掛より時とポイント知る強

号数

1.0

然し、「キズ」があっては「キ

状態にあります。出費多端な折 しく御協力の程お願い申し上げ 柄大変恐縮ですが、どうかよろ 頂いてようやく会が維持できる え置かれており、一〇〇%納入 農林専門学校に赴任されまして 学農学部の前身であります三重 は、

記入したカードを同封致しまし を明記頂ければ幸甚です。 たので、お確かめ下さい 員の皆様には各自の納入状況を 「卒業回数」と「〇年度会費」 年会費は一〇〇〇円です。会 なお納入の際、振替用紙に

昭和五十七年の一・四倍から三・ 六倍へと急増しました。合格発表 定されています。研究のますま 本土壌肥料学会で受賞講演が予 一年は例年にない激戦で、倍率は は去る三月四日に行われました。 の御発展を祈っております。 昭和五十八年度入学者の試験 又、大学教育の社会への開放を の帰国子女三名程度の枠で、共 推進するため、社会人五名程度 社会科学科二十名の計三十名の ます。さらに、文化学科十名、 会科学科の二学科により構成さ 二年次編入が計画されています。 白四十名の計二百二十名であり 止式に発足することになります。 れ、学生定員はそれぞれ八十名 この人文学部は文化学科と社

もに大学の運営面や学会で御活 既に、新聞・テレビ等を通 説

躍されて参りました。

後進の指導にあたられますとと

科主任として多数の人材養成と

運材工学を担当され、更に林学 から三十有余年の永い間、伐木

れようとしている。

とっても、新しい視点が要求さ

的な問題を提起しつつあり、た

口構成の急速な老齢化は社会

とえば、国民の健康問題一つを

グルトと個

る」という、 トを多量に食べているから 掛けである。 ルト不老長寿説」の発表が切っ 最近になって、「食物ー腸 いわゆる「ヨー

と報告している。

になり、「乳またはこれと同 衛生法上では発酵乳というこ び脚光を浴びようとしている ヨーグルトが健康食品として再 を乳酸菌または酵母で発酵さ 以上の無脂乳固形分を含む乳 な手法などの発達と相まって、 別・分析方法や生命科学の新 るようになり、また、成分の 菌叢―健康」の関係が究明さ わが国のヨーグルトは、食 定のバランスを保っている。こ し、有用な菌と有害な菌とが一 のような腸内菌叢は、食物、薬 人でも、ヨーグルトであれば大丈 夫である。これも、乳酸菌による ヨーグルトの利点の一つである。 三、ヨーグルトの整腸作用 健康な人の腸内には、一〇〇

にある。癌成因の八〇~九〇% に一七万人余となり、心臓病、 脳卒中を抜いて、死因の第 は環境因子で、特に女性では六 %、男性では四〇%以上が食 わが国の癌死亡は、

る角度から、食物が見直されつ 老化、免疫能低下などを防止す このような状況下で、成人

われる牛乳を原料としているの

それらによると、腸内の有用な

ては、数多く報告されているが

ヨーグルトの整腸作用につい

菌、たとえばビフィズス菌を増

ヨーグルトは、完全食品とい

たり、免疫能を低下させ、長い 害物質をつくり、発癌を促進し フェノール、アミン類などの有 物成分に作用して、インド・ がある。腸内の有害な菌は、

間には、老化にもかかわってく

ると考えられている。

昭和二十四年九月、三重大

で、良質の蛋白質以外に、日本

の蛋白質、一・八~二・二倍の が不足すると、自らの組織をと カロリーを摂る必要があり、も 修復するためには、普通の生活 時に比べて、二・五~三・五倍 る。重症の熱傷を受けた組織を 養補給に用いられている例があ る事例に、重症の熱傷患者の栄 特にヨーグルトが注目されてい し、蛋白質やカロリーの摂取量 内菌叢を介しての働きも考えら いる。 れている。 成分の直接的な働き以外に、 いるが、その作用機作としては 殖を抑制する効果も認められて 経口投与によって、 四、ヨーグルトの血清コレス

腸

投与が可能であり、しかも、下 使用により、症例によっては六 ~八五〇〇カロリーもの

値が約一〇%低下することを認 防と治療に役立つことが示唆さ は動脈硬化などの血管疾患の予 七日以内に血清コレステロール 事計画の下で、食事毎に二四〇 この研究を発端として、ヘプナ のコレステロールが顕著に減少 めた。このように、ヨーグルト することを見出し、抗コレステ ヨーグルトを与えると、血清中 ずだのヨーグルトを投与して、 一ら(一九七九)も、綿密な食 ロール因子の存在を推定した。 リカのマサイ族の戦士に多量の

おわりに

れている。

物、ストレス、気候、宿主の生 ○兆にも及ぶ細菌が棲息 アの長寿者達にあやかってみて ある。三翠化学会の皆さんも、 をとり入れていくことが大切で ヨーグルトを摂って、ブルガリ 食生活において、予防的な食品 ら管理する時代である。特に、 これからは、自らの健康は自 位

変化し、時として、便秘や下痢

などの病的な症状を呈すること

餌あるいは栄養に関係があると いわれている。 数または酵母数一『炒当り一千乳固形分八・○%以上、乳酸菌 使ったものは市販されていない。 万以上」である。実際には、酵母を されている。その成分は「無脂 二、ヨーグルトの栄養効果

つある。

は大変に喜ばしいことであるが

一の長寿国となった。それ自体

・七三才となり、事実上、世界

ぴったりということで、 そこで、わが国の健康志向に

制する働きがあることを示して 加させ、逆に腐敗細菌などを抑

動物実験では、ヨーグルトの

癌細胞の増

ビタミンB1、B2、Aなどの 給源としても優れている。 人に不足しやすいカルシウムや このような栄養面から、最近、

急増しているヨーグルトにつ て、その効用を二、三紹介する

とされているが、植田ら(一九 れ以上では下痢などが生じ困難 癒が困難となる。一般に用いら 全身性の感染症を起こし、創治 りくずすことになり、さらには れている経腸栄養では一日当り 八〇)は、ヨーグルトと蜂蜜の しカロリーが限度で、こ テロール低下作用

すばらしい治癒効果があがった 翔は起こらず、便通も良好で、 牛乳を飲むと、下痢しやすい マンら(一九七七)は、アフ